

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2024年1月9日

【四半期会計期間】 第16期第3四半期(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

【会社名】 ウエルシアホールディングス株式会社

【英訳名】 WELCIA HOLDINGS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 松本 忠久

【本店の所在の場所】 東京都千代田区外神田二丁目2番15号

【電話番号】 03-5207-5878 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役兼執行役員最高財務責任者 柴崎 孝宗

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区外神田二丁目2番15号

【電話番号】 03-5207-5878 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役兼執行役員最高財務責任者 柴崎 孝宗

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第15期 第3四半期 連結累計期間	第16期 第3四半期 連結累計期間	第15期
会計期間		自 2022年3月1日 至 2022年11月30日	自 2023年3月1日 至 2023年11月30日	自 2022年3月1日 至 2023年2月28日
売上高	(百万円)	845,986	910,460	1,144,278
経常利益	(百万円)	36,568	34,295	52,149
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	21,136	20,382	27,030
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	21,633	20,548	27,841
純資産額	(百万円)	225,214	237,766	232,384
総資産額	(百万円)	537,577	550,673	537,362
1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	101.21	98.44	129.38
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	101.14	98.37	129.29
自己資本比率	(%)	40.7	41.9	42.0

回次		第15期 第3四半期 連結会計期間	第16期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 2022年9月1日 至 2022年11月30日	自 2023年9月1日 至 2023年11月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	19.37	20.11

(注) 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、経営者が連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があると認識している主要なリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績等の状況の概要

##### 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間（2023年3月1日～2023年11月30日）においては、新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症へ移行したことに加え、雇用・所得環境の改善や海外からの渡航者の増加により、個人消費にも増加の動きが見られ、景気は穏やかに回復しております。

一方で物価上昇や世界的な金融引き締めに伴う影響及び中国経済の先行き懸念など海外景気の下振れが我が国経済の景気を下押しするリスクとなる等、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが主に事業を行うドラッグストア業界におきましては、依然として競合企業との出店地をめぐる競争、同業大手のM&Aによる規模拡大、業種・業態を越えた顧客サービスの拡充等、競争が激化しております。

商品動向の面では、新型コロナウイルス感染症対策関連商品や検査キットに対する需要は、感染縮小とともに減少いたしました。一方で各国の行動規制緩和を受けたインバウンド需要には回復が見られております。

このような状況において、当社グループは、お客様のニーズに対応する商品販売、サービスの提供に努め、物販部門においては、マスクや検査キット等の新型コロナウイルス感染症により伸長した商品の反動減はあったものの、早期のインフルエンザの流行も反映した自宅療養者の増加による総合感冒薬等の医薬品や、外出需要の増加を背景にした化粧品の売上増加により、既存店売上は堅調に推移しました。

調剤部門においては、調剤併設店舗数の増加（当第3四半期末現在2,117店舗）や受診控えの解消により、処方箋受付枚数が増加しました。

また、プライベートブランドの開発及び拡販に引き続き注力し、「からだWelcia」「くらしWelcia」の品揃えを拡大し利益に貢献するとともに、品質面においても高い評価をいただいております。加えて消費者の節約志向をとらえた「トップバリュ」の売上も拡大いたしました。

さらに、今期から導入した「WAON POINT」サービスに伴い、当社のポイント会員であるウエルシアメンバーは990万人を超え、引き続きポイントカード・アプリの提示率向上を通じた集客強化を図っております。

販売費及び一般管理費については、燃料価格の高騰を受けた水道光熱費は増加しましたが、人時数の適正化に向けた継続的な取組、自動発注などの店舗業務の効率化や、店舗のエネルギー消費低減へ注力し適正化に努めました。

また、すでに公表しているとおり、ウエルシアグループでは2026年2月までにたばこの販売を終了する方針に合わせ、2023年12月より「ウエルシア禁煙応援プログラム」の提供を開始し、禁煙に取り組まれるお客様を支援いたします。当社グループは2030年のありたい姿として「地域No.1の健康ステーション」の実現を目指しており、その実現に向けこれからも取り組んでまいります。

出店と閉店につきましては、グループ全体で84店舗の出店と34店舗の閉店を実施し、当第3四半期末の当社グループの店舗数は2,813店舗となりました。

(単位：店)

	前期末店舗数 (2023年2月28日)	出店	閉店	第3四半期末 店舗数 (2023年11月30日)
ウエルシア薬局	2,145	64	18	2,191
コクミン	156	3	4	155
ブプレひまわり	134	-	1	133
丸大サクラ杵薬局	96	5	-	101
シミズ薬品	68	3	1	70
クスリのマルエ	60	3	5	58
ふく薬品	25	1	1	25
よどや	25	-	-	25
フレンチ	3	-	1	2
M A S A Y A	39	1	-	40
国内計	2,751	80	31	2,800
Welcia-BHG(Singapore)	12	4	3	13
合計	2,763	84	34	2,813

(注) 上表の「第3四半期末店舗数」のうち調剤取扱店舗は、ウエルシア薬局1,885店舗、コクミン60店舗、ブプレひまわり27店舗、丸大サクラ杵薬局44店舗、シミズ薬品47店舗、クスリのマルエ29店舗、ふく薬品10店舗、よどや11店舗及びWelcia-BHG(Singapore)4店舗の合計2,117店舗、また、深夜営業店舗は、ウエルシア薬局1,762店舗、コクミン8店舗、ブプレひまわり76店舗、丸大サクラ杵薬局54店舗、シミズ薬品63店舗、クスリのマルエ31店舗、ふく薬品17店舗及びよどや17店舗の合計2,028店舗となっております。

また、品目別売上高は、次のとおりとなっております。

品目	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
医薬品	174,427	101.8
化粧品	144,600	109.3
家庭用雑貨	124,136	106.2
食品	205,509	109.4
その他	70,599	102.9
物販計	719,274	106.2
調剤	190,191	113.2
小計	909,465	107.6
手数料収入	994	110.0
合計	910,460	107.6

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は910,460百万円(前年同四半期比7.6%増)、営業利益31,105百万円(同1.2%減)、経常利益34,295百万円(同6.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益20,382百万円(同3.6%減)となりました。

#### 財政状態の分析

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して13,311百万円増加し、550,673百万円となりました。これは主に、現金及び預金が3,028百万円、リース資産(純額)が1,094百万円及びのれんが2,752百万円減少したものの、売掛金が8,585百万円、商品が14,934百万円、建物及び構築物(純額)が4,450百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して7,929百万円増加し、312,907百万円となりました。これは主に未払法人税等が8,304百万円が減少したものの、買掛金が11,919百万円及び未払金が2,467百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して5,381百万円増加し、237,766百万円となりました。これは主に、剰余金の配当により利益剰余金が6,918百万円減少、従業員ESOP信託を再導入したことなどによる自己株式の増加により8,470百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益20,382百万円を計上したことによるものです。

(2) 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針、経営環境及び対処すべき課題等について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	494,947,200
計	494,947,200

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2023年11月30日)	提出日現在発行数(株) (2024年1月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	209,656,076	209,656,076	東京証券取引所 プライム市場	単元株式数は100株 であります。
計	209,656,076	209,656,076	-	-

(注) 提出日現在発行数には、2024年1月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2023年9月1日～ 2023年11月30日	-	209,656,076	-	7,748	-	36,925

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2023年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

2023年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 13,600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 209,489,800	2,094,898	-
単元未満株式	普通株式 152,676	-	-
発行済株式総数	209,656,076	-	-
総株主の議決権	-	2,094,898	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が400株(議決権4個)含まれておりません。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式40株、自己保有株式34株が含まれております。

## 【自己株式等】

2023年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数 の合計(株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ウエルシアホールディングス株式会社	東京都千代田区外神田 二丁目2番15号	13,600	-	13,600	0.01
計	-	13,600	-	13,600	0.01

(注) 従業員持株E S O P信託の信託財産(所有者名義「株式会社日本カストディ銀行(信託E口)」)2,917,400株及び役員報酬B I P信託の信託財産(所有者名義「日本マスタートラスト信託銀行株式会社(役員報酬B I P信託口)」)507,819株は、上記の自己株式等に含めておりません。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2023年9月1日から2023年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2023年3月1日から2023年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	32,854	29,826
売掛金	54,276	62,861
商品	128,835	143,770
その他	26,740	16,734
貸倒引当金	10	28
流動資産合計	242,697	253,165
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	107,093	111,543
土地	20,451	20,625
リース資産（純額）	51,163	50,068
その他（純額）	7,132	7,815
有形固定資産合計	185,840	190,052
<b>無形固定資産</b>		
のれん	36,482	33,730
その他	3,765	5,529
無形固定資産合計	40,248	39,259
<b>投資その他の資産</b>		
差入保証金	47,844	48,587
その他	20,862	19,689
貸倒引当金	130	80
投資その他の資産合計	68,576	68,196
<b>固定資産合計</b>	294,665	297,508
<b>資産合計</b>	537,362	550,673

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	153,182	165,102
短期借入金	12,137	13,194
リース債務	10,288	10,195
未払金	11,941	14,409
未払法人税等	10,796	2,491
賞与引当金	5,361	2,422
役員賞与引当金	94	87
契約負債	143	204
その他	12,686	16,948
流動負債合計	216,633	225,057
<b>固定負債</b>		
長期借入金	29,649	30,057
リース債務	33,997	32,521
資産除去債務	12,665	12,989
退職給付に係る負債	7,524	8,046
役員株式給付引当金	781	864
その他	3,724	3,371
固定負債合計	88,344	87,850
負債合計	304,977	312,907
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	7,747	7,748
資本剰余金	51,681	51,682
利益剰余金	166,566	180,030
自己株式	1,084	9,554
株主資本合計	224,909	229,907
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	373	428
為替換算調整勘定	139	193
退職給付に係る調整累計額	327	326
その他の包括利益累計額合計	840	948
新株予約権	161	158
非支配株主持分	6,472	6,752
純資産合計	232,384	237,766
負債純資産合計	537,362	550,673

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)
売上高	845,986	910,460
売上原価	590,735	635,702
売上総利益	255,251	274,757
販売費及び一般管理費	223,783	243,652
営業利益	31,468	31,105
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	18
不動産賃貸料	1,127	1,143
協賛金収入	635	639
補助金収入	1,903	39
その他	2,160	2,425
営業外収益合計	5,840	4,265
営業外費用		
支払利息	441	538
持分法による投資損失	17	210
不動産賃貸原価	201	283
その他	80	43
営業外費用合計	740	1,075
経常利益	36,568	34,295
特別利益		
固定資産売却益	35	15
投資有価証券売却益	-	12
受取補償金	-	151
特別利益合計	35	179
特別損失		
固定資産売却損	48	-
固定資産除却損	51	147
減損損失	541	627
債務保証損失引当金繰入額	1,120	-
その他	189	131
特別損失合計	1,951	907
税金等調整前四半期純利益	34,652	33,567
法人税、住民税及び事業税	13,321	12,201
法人税等調整額	124	979
法人税等合計	13,445	13,180
四半期純利益	21,207	20,387
非支配株主に帰属する四半期純利益	70	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,136	20,382

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	21,207	20,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	191	55
為替換算調整勘定	190	105
退職給付に係る調整額	45	1
その他の包括利益合計	426	160
四半期包括利益	21,633	20,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,473	20,490
非支配株主に係る四半期包括利益	160	57

## 【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

補助金収入の内訳は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
設備投資等に対する補助金	1,903	39

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
減価償却費	14,627百万円	15,393百万円
のれんの償却額	2,428百万円	2,752百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年4月7日 取締役会(注)1	普通株式	3,144	15.00	2022年2月28日	2022年5月9日	利益剰余金
2022年10月4日 取締役会(注)2	普通株式	3,354	16.00	2022年8月31日	2022年11月4日	利益剰余金

(注)1 配当金の総額には、従業員持株E S O P信託及び役員報酬B I P信託が保有する自社の株式に対する配当金15百万円が含まれております。

2 配当金の総額には、従業員持株E S O P信託及び役員報酬B I P信託が保有する自社の株式に対する配当金10百万円が含まれております。

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年4月10日 取締役会(注)1	普通株式	3,354	16.00	2023年2月28日	2023年5月9日	利益剰余金
2023年10月10日 取締役会(注)2	普通株式	3,563	17.00	2023年8月31日	2023年11月9日	利益剰余金

(注)1 配当金の総額には、役員報酬B I P信託が保有する自社の株式に対する配当金6百万円が含まれております。

2 配当金の総額には、従業員持株E S O P信託及び役員報酬B I P信託が保有する自社の株式に対する配当金58百万円が含まれております。

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループは、医薬品・調剤・化粧品等を中心とした小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

品目		金額(百万円)
	医薬品	171,344
	化粧品	132,276
	家庭用雑貨	116,908
	食品	187,918
	その他	68,617
	物販計	677,063
	調剤	168,019
	商品合計	845,082
	手数料収入	904
	顧客との契約から生じる収益	845,986
	外部顧客への売上高	845,986

当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

品目		金額(百万円)
	医薬品	174,427
	化粧品	144,600
	家庭用雑貨	124,136
	食品	205,509
	その他	70,599
	物販計	719,274
	調剤	190,191
	商品合計	909,465
	手数料収入	994
	顧客との契約から生じる収益	910,460
	外部顧客への売上高	910,460

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	101円21銭	98円44銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	21,136	20,382
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	21,136	20,382
普通株式の期中平均株式数(千株)	208,832	207,063
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	101円14銭	98円37銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	147	139
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

1株当たり四半期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前第3四半期連結累計期間801,394株、当第3四半期連結累計期間2,577,838株であります。

## 2 【その他】

第16期(2023年3月1日から2024年2月29日)中間配当については、2023年10月10日開催の取締役会において、2023年8月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	3,563百万円
1株当たりの金額	17円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2023年11月9日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2024年1月9日

ウエルシアホールディングス株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ 東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 武井 雄次

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大井 秀樹

#### 監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているウエルシアホールディングス株式会社の2023年3月1日から2024年2月29日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2023年9月1日から2023年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2023年3月1日から2023年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ウエルシアホールディングス株式会社及び連結子会社の2023年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

#### 監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公

正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。